



2024年11月21日  
第82号

# JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一  
編集 情宣 担当  
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申  
第41号

東海道線横浜～川崎駅間生見尾踏切での人身事故において発生した関係者が作業中に隣接線の抑止が解除された事象の原因究明を行い、運行優先ではなく11/21安全で安心して業務に従事できる環境を求める申し入れ **交渉速報**

## 「生きているから今こうやって発言できる」

4月26日に東海道線生見尾踏切で発生した人身事故の際に、応援に駆け付けた車両検査係や対向列車の運転士、消防士が作業中に京浜東北線と横須賀線の抑止が解除された事象について、JR東労組横浜地本は職場とともに原因究明委員会を開催し、6月28日に安全で安心して業務に従事できる職場環境を求め申し入れを行いました。

申し入れから4ヶ月が経過した10月末、ようやく交渉日程が示され、本日11月21日に団体交渉が開催されました。第1回交渉では、対向列車の運転士が現場で感じた「命の危機」と、その後の会社対応に対する思いを力強く訴えました。

- 生きているから今こうやって発言ができる！
- もし自分が手伝いに行かず傍観し関係者が轢かれていたら、自ら命を断っていたかもしれない！
- 「抑止」と「抑止解除」の重みをもたせるべきだ！
- 私たちは正しく速やかに報告しているのに、なぜ正しく伝わらないのか？（なぜ教訓化されないのか？）

しかし、会社は・・・

- 一部の作業者に抑止解除が伝わっていなかった。
- 先頭部で作業(写真撮影)があることを認識していなかった。

を原因としてくり返す・・・

## 正しく原因究明できなければ有効な対策は打てない！

※団体交渉の詳細は次号以降でお知らせします。

2024年5月2日  
第162号

### JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本  
発行人 助川 一美  
編集 情宣 担当  
ホームページ  
<http://www.jreu-yokohama1.jp>

## 東海道線（4月26日） 生見尾踏切人身事故 **現場混沌**

安全確認が取れていない状態で京浜東北線・横須賀線抑止解除  
「（京浜東北線）南行も動く！みんな死んじゃう！」叫ぶ声

4月26日19時44分に東海道線横浜～川崎駅間の生見尾踏切で発生した人身事故の際に、応援に駆け付けた車両検査係や対向列車の運転士、消防士が作業中に京浜東北線と横須賀線の抑止が解除されていたことがわかりました。現場の生見尾踏切付近は東海道線と京浜東北線との間に空間があり踏切もわかれています。しかし、当該列車が停止した先頭（15号車）付近は線路に間隔がなく、抑止解除を知らされていない作業者は、京浜東北線南行線路に立ち入って作業をしていました。

消防士が京浜東北線北行が動いていることを認め、対向列車の運転士が「南行も動く。みんな死んじゃうかもしれない」と叫び、退避を促しました。

JR東労組横浜地本鎌倉車両センター分会は4月29日、国府津運輸区分会は5月1日にそれぞれ原因究明委員会を開催し、総勢21名が参加、車両検査係、駅係員、運転士、車掌、指令員と様々な角度から事象の検証を行いました。そこで見えたのは、立場の違う多くの作業者が携わる状況での抑止解除するプロセスの課題や会社の運行優先体質が背後で影響しているということです。※原因究明委員会の詳細は次号以降お伝えします。

**JR東労組横浜地本は命を最大の価値基軸に原因を究明していきます！このままでは会社に殺される！JR東労組に結集し共にたたかおう！**